

令和8年第9回 琴浦町教育委員会定例会 日程【成議書】

と き：令和8年8月21日（金）13:30～

ところ：まなびタウンとうはく研修室

1 開 会

2 前会議録の承認 【承認】

3 会議録署名委員の指名（黒松委員、吉川委員）

4 教育長あいさつ

5 各課報告

（1）教育総務課

- ・就学援助認定について
- ・就学校変更の承認について
- ・中学生相互交流事業（台湾）について
- ・中学校各種大会の結果について
- ・めざせ給食 My スター☆100 人分の給食調理体験会について
- ・主な学校関係行事

（2）社会教育課

- ・まなタンこどもまつりの開催状況について
- ・各地区公民館まつり・町民運動会等の開催について
- ・東伯総合公園内井戸ポンプの不具合について

（3）人権・同和教育課

- ・令和8年度琴浦町人権・同和教育部落懇談会の実施について

6 議 事

議案第43号 令和8年度補正予算要求（9月補正）について 【承認】

7 その他

- （1）令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果について
- （2）生徒指導報告について

8 閉 会

【次回の予定】定例会：令和8年9月28日（月）13時30分～

「違和感」は成長している証拠

令和8年8月31日

教育長 河原裕司

校長在職時、健康維持のため毎週20km以上のウォーキングを自分に課しました。始めた週明けは激しい筋肉痛に見舞われました。

普段しないきつい運動を急に始めたときに、筋肉痛になったという経験は誰にでもあることでしょう。時には痛くて、起き上がるのさえやっとなんてこともあります。しかし、継続してその運動を続けていると、だんだん痛みは和らいでいきます。実はこれは筋肉が強く生まれ変わりつつある証拠なのです。

筋肉痛というのは、激しい運動などによって筋肉がつぶれるときに生じる痛みなのです。正確には筋繊維が切れているのです。筋肉がちぎれるのですから、痛くないはずがありません。ところが、人間の筋肉はすごいもので、いったんつぶれると今度はつぶされたときの負荷に耐えられるようにより強くなって生まれ変わるのです。これを「超回復」と言います。

例えば、今日から筋肉トレーニングを始めたとします。きっと翌日には筋肉痛に見舞われて「もう嫌だ！ やめたい！」と思うことでしょう。しかし、この「いつもと違う感覚」＝「違和感」こそ、成長しつつある証拠なのです。逆に言うと違和感をもたないようでは、人間は成長することはできないと思ってほしいのです。

簡単な実験があります。靴を脱いで履くというものです。何回か繰り返してみてください。きっと同じ方から履いているはずですが、なぜなら無意識にそのような習慣が身についているからです。では、次に反対の靴から何回か履いてみてください。きっと何か「気持ち悪いなあ」「落ち着かないなあ」という感覚になると思います。これが違和感です。これを数週間繰り返していくと最終的には反対側から靴を履く習慣が身につくはずですが、しかし、放っておくといつの間にか元通りの習慣に戻っているはずですが、それほど今の習慣を変えるのは難しいということなのです。

授業の考え方や手法でも、身に付いた習慣でも、今の自分を変える何かを継続しようとすると、必ず「違和感」をもつことになります。でも、そのときにはこう思うことをお勧めします。「あっ！ 今自分は成長しているんだ！」と。違和感をもち、それを楽しめるようになったとき、人はグーンと成長していけるのです。

さあ、2学期も何かを始めましょう！ そして、その「違和感」を大いに楽める先生方、子どもたちを育てていきましょう！

令和 8 年 8 月教育委員会定例会報告

教育総務課

1. 就学援助認定について

すでに認定を受けていた生徒の区域外就学が終了したため、就学校を変更して再度認定するものです。

学校名	学年	要 件	認定日
赤碕中	2	児童扶養手当受給	7 月 3 0 日

2. 就学校変更の承認について

琴浦町立小学校及び中学校の就学校変更等の手続きに関する要綱の規定により、次のとおり承認しました（すでに就学校変更を承認している児童の期間を延長するものです）。

承認校	学年	指定校	現住所	承認期間	要 件
赤碕小	1 年	浦安小	上伊勢	R 9 . 2 . 28 まで	転居予定のため

3. 中学生相互交流事業（台湾）について（別紙のとおり）

4. 中学校各種大会の結果について（別紙のとおり）

5. めざせ給食 My スター☆100 人分の給食調理体験会について （別紙のとおり）

6. 主な学校関係行事

8/25	中学校始業式
8/26	小学校始業式

中学生相互交流事業（台湾）について

教育総務課

1 町内での受入れ

東伯中学校・赤碕中学校と台中市立日南国民中学との友好交流協定に基づく相互交流事業を実施しました。

はじめに、7月1日から5日までの日程で、日南中の生徒12名を東伯中と赤碕中で受け入れました。校内では、生徒同士で英語やタブレットの翻訳機能を活用してコミュニケーションをとりながら、国際交流を楽しんでいました。



学校での歓迎式の様子



日南中先生の授業（体育）



学校生活（掃除）の様子



ホストファミリー全員で見送り

2 日南国民中学校への派遣

引き続き、7月29日から8月2日までの日程で東伯中4名・赤碕中4名の計8名の生徒が第3期派遣団として日南中を訪問しました。

訪問先の日南中で行われた歓迎式では、多くの生徒を前に中国語で自己紹介をしたのち、鳥取県と琴浦町について英語によるクイズ形式で紹介しました。

下校後は、それぞれパートナー生徒の自宅にホームステイをし、台湾での生活を体験しました。最終日は、送別式にて日南中の鄭校長より交流証書を受け取り、お互いの生徒が今回の交流の感想を発表しました。



台中空港での出迎えの様子



日南中での歓迎式



パートナーと日南中校区の見学



送別式での感想発表

3 次回の相互交流事業計画（予定）

- ・令和9年7月7日（水）～7月11日（日）受入
- ・令和9年7月28日（水）～8月1日（日）派遣

中学校各種大会の結果について

教育総務課

1 鳥取県中学校総合体育大会

(1) 陸上競技 (7月18・19日 ヤマトスポーツパーク陸上競技場)

①東伯中

(共通男走幅跳) 第1位 近池 慶士

* 大会新記録、中国大会・全国大会出場

(中3男100m) 第6位 山根 創士郎

(共通男200m) 第4位 山根 創士郎

第8位 信組 暖太

(共通男100mH) 第6位 倉光 駿多

(男4×100mR) 第4位 桑崎・信組・山本・田栗

(女4×100mR) 第8位 細谷・黒木・米村・松田

(共通女ジャベリック) 第1位 黒木 咲花

②赤碕中

(共通女100mH) 第4位 浅田 萌衣

(2) 水泳(競泳) (7月18・19日 鳥取県営東山水泳場)

①東伯中

(バタフライ女100m) 第5位 橋谷 美咲

②赤碕中

(平泳ぎ女100m) 第4位 佐伯 希恵瑠

(平泳ぎ女200m) 第4位 佐伯 希恵瑠

(3) 卓球 (7月18・19日 倉吉体育文化会館)

①東伯中

(男子団体) 第2位 * 中国大会出場

* 予選リーグ

東伯中 3-0 境港一中、東伯中 3-2 桜ヶ丘中

* 決勝トーナメント

東伯中 3-0 智頭中

* 順位決定リーグ

東伯中 0-3 久米中、東伯中 3-2 高草中、東伯中 3-2 北条中

(男女個人) 竹田 楓 (ベスト8) * 中国大会出場

(4) ソフトテニス (7月18・19日 ヤマトスポーツパークテニス場)

①赤碕中

(女子団体)

* 1回戦 赤碕中 0-3 福部 STC

(男女個人) 東伯・赤碕中とも入賞なし

(5) バドミントン (7月18・19日 米子産業体育館)

①東伯中

(女子団体)

東伯中 0-3 wings 米子

(6) 剣道 (7月18日 鳥取県立武道館)

①東伯中

(女子個人)

東伯中入賞者なし

2 中国中学校選手権大会

(1) 陸上競技 (8月8・9日 ヤマタスポーツパーク陸上競技場)

①東伯中

(共通男走幅跳) 第1位 近池 慶士

*大会新記録、中国中学新記録

(男4×100mR) 第7位 桑崎・信組・倉光・山本

(2) 卓球 (8月5～7日 島根県立浜山体育館)

①東伯中

(男子団体)

*予選リーグ 2敗

東伯中 0－3 野田学園 (山口)

東伯中 0－3 益田 (島根)

(男子個人)

竹田 楓 予選リーグ2敗

3 全日本吹奏楽コンクール鳥取県大会 (8月10日 米子市公会堂)

(1) 中学生Aの部 東伯中 銀賞

4 全日本中学校陸上競技選手権大会 (8月20～23日 山口県・維新みらいふスタジアム)

(1) 走幅跳 23日15時より競技開始 (「全中陸上LIVEチャンネル」(YouTube)でLIVE配信あり)

東伯中 近池 慶士

めざせ給食Myスター☆100人分の給食調理体験会について

学校給食センター

1 目 的

小学校4年生以上の児童生徒を対象に、通常は関係者以外立ち入りできない給食施設での調理をととして、給食づくりにおける衛生管理やチームワークの大切さを体感し、また、日頃お世話になっている方々の温かさや願いを知るなかで、子どもたちの人間性や社会性を育むことを目的として開催しました。

2 日 時 令和8年7月25日（土） 9：00～13：00

3 会 場 開会・会食：浦安小学校2階教室
調 理 体 験：学校給食センター

4 参加者 50名

（小4：2名、小5：7名、小6：8名、中1：6名、中2：5名、保護者：22名）

5 内 容

28名の児童生徒が3班に分かれて、協力して100人分の給食づくりにチャレンジしました。また、できあがった給食は、学校給食野菜会など関係者の方と一緒に、おいしく楽しくいただきました。



（献立：きなこあげパン、焼肉サラダ、ABCスープ、フルーツ白玉、牛乳）

6 参加者の感想

事後アンケート結果では、参加者の92%から「満足」との回答をいただきました。

（1）「満足」と回答した主な理由

- ・給食のつくり方がいろいろあってたいへんだったけど、自分たちのつくった給食はおいしかったです。
- ・ふだん入れない給食センターのいろいろな場所に入れたり、調理をしたりして貴重な体験がたくさんできてうれしかったです。

（2）給食づくりに関わる方々への保護者からのメッセージ

- ・親から子へ、同じ給食を食べていると思うと、感謝し、うれしく感じています。
- ・バランスのよい献立を考えるのはとてもたいへんだと思いますが、これからも子どもたちの「食」を支えていただけたらと思います。

1 まなタンこどもまつりの開催状況について

開催日:令和8年8月9日(日) 9:30～15:30

会 場:まなびタウンとうはく 全館

内 容:ものづくりや体験など12コーナー

参加者数:205 名(子どものみ受付)

全コーナー延べ体験者数:910 人

(小学生・未就学児と保護者)



2 各地区公民館まつり・町民運動会等の開催について

下記表のとおり開催されますので、ご案内いたします。

各地区行事名	日時・会場
浦安地区公民館まつり	9月5日(土)・6日(日) 9:30～ 浦安地区公民館
安田地区町民運動会	9月27日(日)9:30～ 旧安田小学校体育館
以西地区町民運動会	9月27日(日)13:00～ 旧以西小学校グラウンド
浦安地区総合スポーツ大会	9月27日(日)8:00～ 浦安地区公民館・芝生広場 ※雨天：浦安地区公民館
下郷地区町民運動会	9月27日(日)9:00～ 聖郷小学校グラウンド
古布庄ふれあい交流会	11月8日(日)9:00～ 森の楽園芝生広場(旧古布庄保育園)
成美地区町民運動会	10月4日(日)8:30～ 船上小学校グラウンド ※雨天：船上小学校体育館
赤碕地区町民運動会	10月4日(日)9:00～ 赤碕小学校グラウンド
上郷地区レクリエーション 交流会	10月11日(日)9:00～ 上郷地区公民館
八橋ぶらりウォーキング	10月18日(日)9:00～ ※少雨決行 まなびタウンとうはく集合

※記載のない地区・屋内以外の会場では雨天の場合は中止です。

3 東伯総合公園内井戸ポンプの不具合について(別紙のとおり)

1 概要

東伯総合公園内の井戸の取水ポンプに不具合が生じており、その状況と現時点の対応について報告するもの。

2 不具合の状況

○経過

- ・8/5（水）午後、公園利用者から野球場横トイレの水が出ないと報告があり確認。井戸の取水ポンプが停止していた。

- ・公園内の井戸水による水道も出ないことを確認。

- ・ポンプを自動モードから手動モードに切り替えることで起動を確認。

自動モード：貯水タンクに水が一杯になったら、自動でポンプが止まる（通常モード）

手動モード：24時間常にポンプが動いている状態

○ポンプの状況

- ・翌8/6に業者対応し、状態を確認。

- ・手動モードでくみ上げができていますので、故障しているのは基盤関係かセンサー類と思われるが、修理は不可能（古いため補修部材、補修パーツがなく部分修繕はできない）。壊れたらポンプ全体を交換するしかない。

- ・手動モードでは、ポンプが常に稼働しており、休憩する間がないため、過度にポンプに負荷がかかり、ポンプ故障のリスクが高まる。

3 当面の対応について

当面、職員による手動モードへの切り替えにより稼働させる。

①午前中に職員が手動でポンプの電源を入れて貯水タンクに水を貯め、たまったら止める。（テニス場横で漏水しており、タンクを満水にしても24時間もたないため、毎日手動で行う）。

②どんぐり公園トイレ横に手洗い用水を設置し、使用水量を少なくする。

③大規模イベント等は、手動モードを連続稼働など検討。



4 今後について

- ・取水ポンプが完全に止まったら、野球場、野球場横トイレ、サッカー場、平岩会館、どんぐり公園の給水が止まるため、施設の利用制限・中止等の判断も必要となる。

【参考】給排水管改修(上下水道接続)の予定

R8年度 東伯総合公園内給排水管布設工事(中央園路から野球場トイレまで)

給水管路実施設計(平岩会館～どんぐり公園)

R9年度 平岩会館～どんぐり公園までの給水管布設工事(予定)

1 令和 8 年度琴浦町人権・同和教育部落懇談会の実施について

目 的：一人ひとりが人権を正しく理解し、あらゆる差別の解消と人権尊重のまちづくりの推進、地域における人権意識の高揚を図るために行います。

テーマ：「お互いの人権を尊重するコミュニケーション」

実施方法：各部落単位で実施し、部落役員と町職員推進者（係長以上）とが協働で行います。

実施時期：10 月～12 月末

事前説明会：9 月中旬から 10 月初旬にかけて、各地区ごとに開催します。

議案第 4 3 号

令和 8 年度補正予算要求（9 月補正）について

令和 8 年度教育費補正予算を要求することについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 3 1 年法律第 1 6 2 号）第 2 9 条の規定に基づき、本委員会の意見を求める。

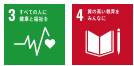
令和 8 年 8 月 2 1 日 提 出

琴浦町教育委員会教育長 河 原 裕 司

令和 8 年 月 日

琴浦町教育委員会

令和8年度 事業説明書（4号補正）



1 基本情報

一般会計

事業番号	262等	事業名	一般教育振興費（小学校）			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	教育総務課			担当係	総務係			
予算区分	款	9 教育費	項	2 小学校費	目	2 教育振興費		
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				① 子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当年度の事業費

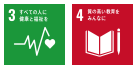
(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
補正前予算現計	16,333	1,043	0	2,864	3,000	9,426		
今回補正額	5,100	0	0	5,000	0	100	ふるさと未来夢基金繰入金5,000	
補正後予算額	21,433	1,043	0	7,864	3,000	9,526		
前年度予算額	20,269	(比較：1,164)			前々年度決算額		42,393	(比較：△20,960)

3 補正予算の概要

補正予算の概要	ふるさと納税による寄附を活用して、聖郷小学校多目的ルームの備品を購入する。			
細事業等	補正予算の内容	財源内訳	補正額（千円）	補正前予算現計
教育振興事業 【改善】	多目的ルームを「聖郷カフェ」、「体験活動」、「地域の方同士の交流」のため、より機能的な部屋としてブラッシュアップする。 ・ 備品購入費 5,100千円 【購入予定品】 ・ スタッキングテーブル 26台 ・ スタッキングチェア 104脚 ・ チェアポーター 4台 ・ シューズボックス 2台 ・ 配膳台 3台 ・ イージーアップテント 4台 ・ ブルートゥーススピーカー 1台 ・ 遮光カーテン・カーテンレール 1式	ふるさと未来夢基金繰入金 5,000、町 100	5,100	0
	合計		5,100	
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書（4号補正）



1 基本情報

一般会計

事業番号	280等	事業名	一般教育振興費（中学校）			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	教育総務課			担当係	総務係			
予算区分	款	9 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費		
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				① 子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当年度の事業費

（単位：千円）

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
補正前予算現計	23,803	832	102	5,251	10,000	7,618		
今回補正額	5,100	0	0	5,000	0	100	ふるさと未来夢基金繰入金5,000	
補正後予算額	28,903	832	102	10,251	10,000	7,718		
前年度予算額	25,057	(比較：3,846)			前々年度決算額		25,758	(比較：3,145)

3 補正予算の概要

補正予算の概要	ふるさと納税による寄附を活用して、東伯中学校の備品を購入する。			
細事業等	補正予算の内容	財源内訳	補正額（千円）	補正前予算現計
教育振興事業 【改善】	部活動で使用する楽器の更新及び図書館書架を整備する。 ・ 備品購入費 5,100千円 【購入予定品】 ・ テナーサックス ・ ホルン ・ トロンボーン ・ ハーモニーディレクター ・ ヴィブラフォン ・ ティンパニー 3台 ・ 図書館書架 1式（書架6箇所、新聞閲覧台1箇所）	ふるさと未来夢基金繰入金 5,000、町100	5,100	4,275
	合計		5,100	
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書（4号補正）



一般会計

1 基本情報

事業番号	321	事業名	町内文化財保護事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課			担当係	学芸文化係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	3 文化財保護費		
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり					⑥ 歴史文化資源の活用と継承		
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
補正前予算現計	4,067	56	0	0	0	4,011		
今回補正額	62	0	0	0	0	62		
補正後予算額	4,129	56	0	0	0	4,073		
前年度予算額	3,341	(比較：788)			前々年度決算額		2,738	(比較：1,391)

3 補正予算の概要

補正予算の概要					鳥取県指定文化財（天然記念物）「古布庄の大スギ」の保存管理にかかる所有者事業に対し補助するもの。						
細事業等		補正予算の内容			財源内訳		補正額（千円）		補正前予算現計		
古布庄の大スギ保存管理事業 【新規】		鳥取県指定文化財（天然記念物）「古布庄の大スギ」の周囲を保護する柵が倒壊したことから、再設置事業を補助するもの。			単町		62		0		
		事業費250千円（県1/2・町1/4補助 所有者負担1/4） 補助金62千円									
		合計					62				
その他事業内容											

令和8年度 事業説明書（4号補正）



一般会計

1 基本情報

事業番号	1483	事業名	スポーツ・運動推進事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課			担当係	社会体育係			
予算区分	款	9 教育費	項	5 保健体育費	目	2 体育振興費		
まちづくり ビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				③ 地域で取り組む町民一人ひとりの健康づくりと介護予防			

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
補正前予算現計	15,501	0	0	3,741	5,500	6,260		
今回補正額	110	0	0	0	0	110		
補正後予算額	15,611	0	0	3,741	5,500	6,370		
前年度予算額	10,258	(比較：5,353)			前々年度決算額		15,599	(比較：12)

3 補正予算の概要

補正予算の概要	スポーツ推進委員が新たに2名加わったため、ウェア等（貸与）の作成費用を補正するもの。			
細事業等	補正予算の内容	財源内訳	補正額（千円）	補正前予算現計
スポーツ推進委員活動	スポーツ推進委員が新たに2名加わったため、ウェア等（貸与）の作成費用を計上するもの。	単町	110	2,147
	消耗品費			
	・トレーニングウェア上下 61千円			
	・ Poloシャツ 10千円			
	・防寒着上下 39千円			
合計			110	
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書（4号補正）



一般会計

1 基本情報

事業番号	351	事業名	東伯総合公園管理事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課			担当係	社会体育係				
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	3	体育施設費
まちづくり ビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				⑥ 誰もが利用したくなる運動拠点施設の整備				

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
補正前予算現計	20,321	0	0	4,268	0	16,053		
今回補正額	450	0	0	0	0	450		
補正後予算額	20,771	0	0	4,268	0	16,503		
前年度予算額	30,679	(比較：△9,908)			前々年度決算額		19,760	(比較：1,011)

3 補正予算の概要

補正予算の概要	トレーニングルームのエアコン2台、武道館網戸、駐車場トイレ照明修繕など急な修繕が続き、修繕料の残額がなくなったため、当初予定していたものや今後の突発的な修繕に備えるもの。			
細事業等	補正予算の内容	財源内訳	補正額（千円）	補正前予算現計
東伯総合公園の管理運営	修繕料 450千円 ※今後の修繕予定：トレーニングマシン、軽トラダンプ、乗用モア、その他館内設備等の突発的な故障に対応するもの	単町	450	20,321
合計			450	
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書（4号補正）



一般会計

1 基本情報

事業番号	418	事業名	赤碕総合運動公園管理			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課			担当係	社会体育係				
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	3	体育施設費
まちづくり ビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり					⑥ 誰もが利用したくなる運動拠点施設の整備			

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
補正前予算現計	8,623	0	0	2,808	0	5,815		
今回補正額	1,100	0	0	1,100	0	0	企業版ふるさと納税地方創生基金1,100	
補正後予算額	9,723	0	0	3,908	0	5,815		
前年度予算額	5,015	(比較：4,708)			前々年度決算額		6,357	(比較：3,366)

3 補正予算の概要

補正予算の概要	企業版ふるさと納税を活用し、赤碕運動公園の設備を修繕するもの。 野球場の給水設備、コンセント設置・修繕、バックネットの修繕。			
細事業等	補正予算の内容	財源内訳	補正額（千円）	補正前予算現計
赤碕総合運動公園の管理運営	企業版ふるさと納税を活用し、赤碕運動公園内野球場の設備を修繕するもの。	その他	1,100	8,623
	修繕料 1,100千円			
	球場散水設備工事 242千円			
	コンセント増設、修繕 55千円			
	バックネットフェンス修繕工事 803千円			
合計			1,100	
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書（4号補正）



一般会計

1 基本情報

事業番号	566	事業名	東伯児童館運営費			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	人権・同和教育課			担当係	人権教育推進係			
予算区分	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	3 児童館運営費		
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				① 誰一人取り残さない地域内での福祉の充実			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
補正前予算現計	11,937	3,515	0	5	7,550	867		
今回補正額	2,109	0	0	0	2,100	9		過疎債2,100千円
補正後予算額	14,046	3,515	0	5	9,650	876		
前年度予算額	897	(比較：13,149)			前々年度決算額		1,034	(比較：13,012)

3 補正予算の概要

補正予算の概要	・空調更新工事請負費（遊戯室、図書室など）の実施設計結果に基づく増額 ・実施設計委託料確定に伴う減額			
細事業等	補正予算の内容	財源内訳	補正額（千円）	補正前予算現計
東伯文化センター空調改修工事 【新規】	・空調更新工事設計委託料確定に伴う減額 △ 1,067千円 ・空調更新工事請負費（遊戯室、図書室など）の実施設計結果に基づく増額 3,190千円 ※隣保館と按分 (内訳) 児童館：3,176千円（隣保館：14千円）	町債2,100千円 町9千円	2,109	11,065
合計			2,109	
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書（4号補正）



一般会計

1 基本情報

事業番号	570	事業名	東伯隣保館運営費			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	人権・同和教育課			担当係	人権教育推進係			
予算区分	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	4 隣保館運営費		
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				① 誰一人取り残さない地域内での福祉の充実			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
補正前予算現計	3,739	0	2,757	27	350	605		
今回補正額	14	0	0	0	0	14		
補正後予算額	3,753	0	2,757	27	350	619		
前年度予算額	7,699	(比較：△3,946)			前々年度決算額		2,956	(比較：797)

3 補正予算の概要

補正予算の概要	・空調更新工事請負費（遊戯室、図書室など）の実施設計結果に基づく増額			
細事業等	補正予算の内容	財源内訳	補正額（千円）	補正前予算現計
東伯文化センター空調更新工事 【新規】	空調更新工事請負費（遊戯室、図書室など）の実施設計結果に基づく増額 3,190千円 ※児童館と按分（内訳）隣保館：14千円（児童館：3,176千円）	単町	14	376
	合計		14	
その他事業内容				

令和 8 年度 全国学力・学習状況調査結果 琴浦町の概要

令和 8 年 8 月 2 1 日
教育総務課

1 実施状況

(1) 小学校 6 年 実施校 5 校

教科等	国語	算数	質問紙
人 数	134	133	117

(2) 中学校 3 年 実施校 2 校

教科等	国語	数学	英語	質問紙
人 数	121	121	120	119

2 教科調査の概要

(1) 小学校 6 年

【平均正答率】

年度	国語			算数								
	町	県	国	町	県	国						
R8	58	60	60.9	54	55	56.4						
R7	63	65	66.8	53	55	58.0						
R6	67	68	67.7	63	63	63.4						
R5	65	67	67.2	62	61	62.5						
R4	63	64	65.6	63	62	63.2						
R3	67	64	64.7	71	69	70.2						
H31	66	63	63.8	67	66	66.6						
年度	国語 A			国語 B			算数 A			算数 B		
	町	県	国	町	県	国	町	県	国	町	県	国
H30	72.0	71.0	70.7	58.0	55.0	54.7	65.0	62.0	63.5	53.0	50.0	51.5
H29	79.0	76.0	74.8	65.0	57.0	57.5	82.0	77.0	78.6	47.0	46.0	45.9

赤字

は国平均・県平均をととも下回るもの、

青字

は国平均・県平均をととも上回るもの

赤字は国平均・県平均をともに下回るもの、青字は国平均・県平均をともに上回るもの

国語 13 問 ◆平均正答率・・・58%（国：60.9%，県：60%）

〈全国平均と比べて比較的できている点〉

- ・「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる」問題 81.3%（国：76.4%，県：78.4%）
- ・「学年別漢字配当表に示されている漢字（短い）を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる」問題 82.8%（国：80.0%，県：81.1%）

〈全国平均と比べて課題がある点〉

- ・「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる」問題（動画全体の工夫） 50.0%（国：60.2%，県：58.7%）
- ・「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる」問題（動画一部分の工夫） 55.2%（国：63.2%，県：62.4%）
- ・「筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる」問題 49.3%（国：57.9%，県：54.6%）
- ・「引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる」問題 29.1%（国：33.5%，県：34.3%）
- ・「相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができるかどうかをみる」問題 70.1%（国：73.9%，県：73.6%）

分 類		区 分	町	県	国
学習指導 要領の内容	知識及び 技能	(１) 言葉の特徴や使い方に関する事項	66.8	66.7	66.8
		(２) 情報の扱い方に関する事項	50.7	50.9	52.3
		(３) 我が国の言語文化に関する事項			
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	58.5	64.9	65.8
		B 書くこと	39.2	44.5	45.7
		C 読むこと	67.2	66.7	65.9
評価の観点		知識・技能	61.4	61.5	62.0
		思考・判断・表現	55.4	59.6	60.1
		主体的に学習に取り組む態度			

学習指導要領の内容では、「読むこと」が、評価の観点では「知識・技能」が、問題形式では「短答式」で全国・県平均の正答率を上回った。漢字を文の中で正しく使う問題（問題番号 2 三ア）の正答率は 82.8% で、全国・県平均を上回った。また、文章を読んで考えたことを自分の経験と結び付けてまとめて書く問題（問題番号 3 三(2)）の正答率も 81.3% と高い正答率だった。反対に、学習指導要領の内容の「書くこと」の正答率は 39.2% と低くなっている。具体的には、集めた情報から抜き出して考えが伝わるように書く問題（問題番号 2 四、正答率：34.3%）、漢字を文の中で正しく使う問題（問題番号 2 三イ、正答率：42.5%）である。無回答率も記述を要する問題や条件が複雑な問題になると割合が高くなる傾向がみられる。これらから、収集した情報を活用して自分の考えを論理的に構成し文章に表現することや、語句を文脈に応じて正しく使うことに難しさがみられる。

算数 16 問 ◆平均正答率…54%（国：56.4%，県：55%）

〈全国平均と比べて比較的できている点〉

- ・「立方体の体積の計算による求め方について理解しているかどうかをみる」問題 84.2%（国：72.7%，県：73.2%）
- ・「帯グラフの特徴と使い方を理解し、およその割合を読み取ることができるかどうかをみる」問題 83.5%（国：74.9%，県：75.2%）

〈全国平均と比べて課題がある点〉

- ・「体積の意味について理解しているかどうかをみる」問題 30.1%（国：40.1%，県：36.4%）
- ・「直方体の箱の形を構成する面について理解しているかどうかをみる」問題 54.9%（国：63.0%，県：62.3%）
- ・「日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる」問題 37.6%（国：45.2%，県：40.6%）
- ・「百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めることができるかどうかをみる」問題 46.6%（国：53.1%，県：50.7%）
- ・「基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるかどうかをみる」問題 27.8%（国：34.2%，県：29.7%）

分 類		区 分	町	県	国
学習指導 要領の領域	A	数と計算	58.6	59.0	61.1
	B	図形	51.7	53.1	55.3
	C	測定	75.9	76.3	78.1
	C	変化と関係	37.1	37.7	41.1
	D	データの活用	47.0	47.6	48.6
評価の 観点		知識・技能	58.3	58.4	60.1
		思考・判断・表現	43.0	44.2	45.4
		主体的に取り組む態度			

算数は、問題形式において「選択式」で全国・県平均を上回ったが、学習指導要領の各領域においては全国・県平均を下回った。一辺が 8cm の立方体の体積を求める式を書く問題（問題番号 1 (1)）は正答率が 84.2%、帯グラフからおよその割合を読み取る問題（問題番号 4 (4)）は正答率が 83.5% と全国・県平均を上回った。しかし、1 立方センチメートルの立方体を 36 個使ってできた直方体の体積を書く問題（問題番号 1 (3)）や、割合の関係が正しく表されている図を二つ選ぶ問題（問題番号 2 (4)）、二次元の表から条件に合う人数を読み取る問題（問題番号 4 (3)）と、概念の理解や複数の情報を読み取る問題において課題が見られた。さらに、「知識・技能」の正答率 58.3% に対して、「思考・判断・表現」は 43.0% と低くなっている。具体的には、7/3 と 7/4 の大小を判断しその理由を書く問題（問題番号 3 (3)）の正答率は 28.6%、直方体の 3 辺の長さを基に送料の求め方とその答えを書く問題（問題番号 1 (4)）の正答率は 37.6% となっている。示された情報や数量の関係に着目し、自らの考えやその根拠を算数的な言葉や式を用いて論理的に表現することに課題がみられる。

(2) 中学校 3 年
【平均正答率】

年度	国語			数学			英語						
	町	県	国	町	県	国	町	県	国				
R8	58	60	63.9	48	53	57.0	453	469	499				
R7	52	52	54.3	41	44	48.3							
R6	55	57	58.1	44	50	52.5							
R5	72	69	69.8	51	50	51.0	38	42	45.6				
R4	65	68	69.0	48	51	51.4							
R3	67	63	64.6	54	56	57.2							
H31	71	73	72.8	60	60	59.8	51	54	56				
	国語 A		国語 B		数学 A		数学 B		※R8年度より英語はIRTスコアにより表示				
	町	県	国	町	県	国	町	県		国			
H30	76.0	76.0	76.1	58.0	60.0	61.2	64.0	66.0		66.1	43.0	45.0	46.9
H29	77.0	77.0	77.4	71.0	72.0	72.2	62.0	63.0		64.6	45.0	48.0	48.1

※R8年度より英語はIRTスコアにより表示

赤字は国平均・県平均をともに下回るもの、青字は国平均・県平均をともに上回るもの

国語 15 問 ◆平均正答率…58% (国：63.9%, 県：60%)

〈全国平均と比べて比較的にできている点〉

- ・「必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができるかどうかをみる」問題 71.1% (国：70.4%, 県：65.9%)

〈全国平均と比べて課題がある点〉

- ・「文章の中心的部分と付加的部分について叙述を基に捉えることができるかどうかをみる」問題 59.5% (国：71.6%, 県：69.4%)
- ・「目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができるかどうかをみる」問題 57.9% (国：68.7%, 県：64.7%)
- ・「互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができるかどうかをみる」問題 43.0% (国：52.7%, 県：48.3%)
- ・「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができるかどうかをみる」問題 30.6% (国：38.9%, 県：36.9%)
- ・「目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる」問題 60.3% (国：68.5%, 県：66.6%)

分 類		区 分	町	県	国
学習指導 要領の内容	知識及び 技能	(１) 言葉の特徴や使い方に関する事項	58.2	58.6	63.0
		(２) 情報の扱い方に関する事項	63.6	66.8	70.4
		(３) 我が国の言語文化に関する事項			
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	58.1	60.3	63.9
		B 書くこと	63.1	64.0	67.4
		C 読むこと	49.3	57.0	59.7
評価の観点		知識・技能	59.1	60.0	64.2
		思考・判断・表現	56.8	60.4	63.7
		主体的に学習に取り組む態度			

学習指導要領の内容では「情報の扱い方に関する事項」(63.6%)や「B 書くこと」(63.1%)が、評価の観点では「知識・技能」(59.1%)が、問題形式では「選択式」(67.1%)で高い正答率となった。話合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する問題（問題番号 2 二）の正答率は 71.1%で、全国・県平均を上回った。また、「ら抜き言葉」を選択する問題（問題番号 1 三）の正答率は 85.1%、気持ちがより伝わるように表現を工夫して書く問題（問題番号 3 二）の正答率も 85.1%と高い正答率だった。

反対に、学習指導要領の内容では「C 読むこと」(49.3%)、問題形式では「記述式」(39.1%)や「短答式」(48.2%)の正答率が低くなっている。具体的には、国語辞典を参考にして同じような内容を表す別の表現を文章中から抜き出す問題（問題番号 4 二、正答率：27.3%）、二つの例文を比べながら、擬態語「きっぱり」が表している具体的な様子と擬態語の効果を書く問題（問題番号 4 四、正答率：30.6%）、話合いを受けてどのような意見を述べるか自分の考えを書く問題（問題番号 2 四、正答率：43.0%）である。無回答率も記述式問題や一部の短答式問題になると 30%を超えて割合が大幅に上がる。これらから、文章の文脈を踏まえて必要な情報を的確に読み取ったり、自分の考えを根拠に基づいて論理的に構成し表現したりすることに難しさがみられる。

数学 16問 ◆平均正答率…48%（国：57.0%，県：53%）

〈全国平均と比べて比較的できている点〉

・「累積度数の意味を理解しているかどうかをみる」問題

57.0%（国：46.0%，県：49.2%）

〈全国平均と比べて課題がある点〉

・「統合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる」問題

27.3%（国：44.6%，県：39.6%）

・「起こりうる場合を樹形図や二次元の表を利用するなどして整理し、確立を求めることができるかどうかをみる」問題

45.5%（国：60.2%，県：54.4%）

・「具体的な事象において、考察の対象となる角を的確に捉えることができるかどうかをみる」問題

49.6%（国：62.5%，県：54.4%）

・「同類項の意味を理解しているかどうかをみる」問題

57.9%（国：70.5%，県：62.4%）

・「事柄が成り立つ理由を文字を使って説明するための方針を立てることができるかどうかをみる」問題

53.7%（国：65.0%，県：63.6%）

・「箱ひげ図と四分位数の対応について理解しているかどうかをみる」問題

64.5%（国：75.8%，県：73.6%）

分 類	区 分	町	県	国
学習指導 要領の領域	A 数と式	58.0	63.8	67.8
	B 図形	38.2	42.4	48.7
	C 関数	47.4	52.0	54.8
	D データの活用	47.1	51.4	53.5
評価の 観点	知識・技能	55.5	59.4	63.0
	思考・判断・表現	26.9	34.3	39.1
	主体的に取り組む態度			

全領域において、全国・県平均を下回った。最高気温が最低気温より何℃高くなったかを書く問題（問題番号1）では正答率が85.1%と高くなっているが、証明する事柄における仮定となる辺や角の関係を選ぶ問題（問題番号8(3)、正答率：26.4%）や、2直線が平行になるための根拠となる二つの角を書く問題（問題番号3、正答率：40.5%）は正答率が低くなっており、基本的な知識の定着が求められる。また、「思考・判断・表現」をみる「記述式」問題の正答率が低くなっている。具体的には、二つの度数分布多角形の形と位置を比較して理由を説明する問題（問題番号9(3)、正答率：21.5%）、動画の時間がおおよそ何秒になるかを求める方法を説明する問題（問題番号7(2)、正答率：22.3%）、選んだ2数の差に着目してA－Bの値がどんな数になるかを説明する問題（問題番号6(3)、正答率：27.3%）等である。これらの問題では、無回答率も4割から6割程度となっている。図形概念の理解や基礎的な知識の活用に課題があるとともに、数学的な事象を解釈し、その過程や理由を論理的に説明する力が十分に定着していないことが考えられる。

英語 15問 ◆平均IRTスコア…453（国：499，県：469）

※IRTスコアとは、IRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すもの。

〈全国平均と比べて比較的できている点〉

・特記事項なし

〈全国平均と比べて課題がある点〉

・「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持などを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる」問題（留学生との交流会で一緒にしたいことを1つ取り上げ、その理由を書く）

21.6%（国：44.0%，県：34.0%）

・「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持などを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる」問題（中学生になってからの思い出を1つ取り上げ、そこで体験したことと感想を書く）

26.1%（国：47.5%，県：36.1%）

・「音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる」問題（留学生の昨日の出来事を説明する英文を書く）

39.2%（国：52.7%，県：43.3%）

・「日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる」問題

57.1%（国：76.0%，県：69.6%）

・「社会的な話題について、話を聞き、概要を捉えることができるかどうかをみる」問題

43.3%（国：55.6%，県：46.0%）

分 類	区 分	町	県	国
技能	聞くこと	1.0 / 2	1.0 / 2	1.2 / 2
	読むこと・書くこと	2.0 / 5	2.2 / 5	2.5 / 5

IRTバンド	生徒割合（％）		
	町	県	国
5	3.3	3.6	5.9
4	10.8	16.2	22.7
3	35.8	36.3	38.4
2	40.0	36.5	28.2
1	10.0	7.4	4.7

IRT スコアは全国・県のそれよりも下回る結果であった。誕生日パーティーに関するメールを読み、最も適切な時刻を選択する問題（問題番号 7）では正答率が 66.7％となり、県平均（62.8％）を上回った。また、インターネットの使用に関する文章を読み、書き手が最も伝えたいことを選択する問題（問題番号 10(1)）、正答率：41.7％も県平均（39.0％）を上回っている。日常的な話題の文章から目的や概略・必要な情報を捉える力がついてきていると考える。一方で、インターネットの使用に関して読んだことについて、考えとその理由を書く問題（問題番号 10(2)）、正答率：20.0％、留学生との交流会で一緒にしたいことを 1 つ取り上げ、その理由を書く問題（問題番号 13、正答率：21.6％）、学校で普段行うことを 1 つ取り上げ、それについての説明を書く問題（問題番号 14、正答率：21.6％）、中学生になってからの思い出と体験・感想を書く問題（問題番号 12、正答率：26.1％）等の正答率が低くなっている。これらの「書くこと」に関する記述問題では、無解答率も 2 割から 3 割程度となっている。読み取った内容や自分の考えについて、理由や具体例を添えて適切な英文で表現・記述するという過程において、自らの考えを英語で表現することを大切に指導していきたい。

3 質問紙調査の概要（下線・・・肯定的な回答について、全国平均を上回っている数値）

（1）教科に関するもの ※全国平均と比較して 5 ٪の差があるもの

【小学校 6 年 国語】

- ・「国語の勉強は得意ですか」 52.5％（国：60.4％，県：58.6％）
- ・「国語の勉強は好きですか」 50.4％（国：57.4％，県：56.6％）
- ・「国語の授業の内容はよく分かりますか」 72.1％（国：81.5％，県：79.9％）
- ・「5 年生までに受けた授業では、国語の授業で、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめていましたか」 72.8％（国：78.3％，県：75.5％）
- ・「国語の授業で、目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けていますか」 68.6％（国：79.1％，県：75.8％）

【小学校 6 年 算数】

- ・「算数の授業の内容はよく分かりますか」 69.3％（国：77.5％，県：74.7％）
- ・「5 年生までに受けた授業では、図形や数直線など図が示された問題では、問題を解くときに図が役に立つと思いましたか」 93.7％（国：88.3％，県：88.6％）

【小学校 6 年 英語】

- ・「英語の勉強は得意ですか」 46.9％（国：59.8％，県：57.0％）
- ・「英語の勉強は好きですか」 51.8％（国：66.7％，県：65.8％）
- ・「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいですか」 33.6％（国：45.4％，県：40.6％）
- ・「これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビや動画、ホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）」 25.9％（国：46.2％，県：40.8％）
- ・「家庭学習の課題（宿題）として、どの程度、PC・タブレットなどの ICT 機器を使用して、英語の音声を読み聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか（週 1 回程度以上）」 12.6％（国：29.7％，県：23.9％）

【中学校 3 年 国語】

- ・「国語の勉強は得意ですか」 58.8％（国：51.6％，県：51.3％）
- ・「国語の勉強は好きですか」 63.0％（国：57.2％，県：58.3％）
- ・「1・2 年生のときに受けた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれましたか」 81.5％（国：73.0％，県：77.0％）
- ・「1・2 年生のときに受けた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれましたか」 83.2％（国：71.8％，県：76.1％）

【中学校 3 年 数学】

- ・「数学の勉強は得意ですか」 60.5％（国：48.5％，県：47.9％）

- ・「数学の勉強は好きですか」 63.9%（国：56.1%，県：53.6%）
- ・「1・2年生のときに受けた授業では、数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていましたか」 72.3%（国：63.0%，県：63.0%）
- ・「1・2年生のときに受けた授業では、数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか」 71.4%（国：60.4%，県：65.7%）

【中学校3年 英語】

- ・「英語の勉強は得意ですか」 31.0%（国：39.5%，県：36.9%）
- ・「英語の授業の内容はよく分かりますか」 58.0%（国：64.2%，県：59.0%）
- ・「これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビや動画、ホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）」 24.4%（国：36.6%，県：33.6%）
- ・「1・2年生のときに受けた授業では、キーボード（画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む）を使って英語を書く活動を行いましたか」 76.5%（国：61.3%，県：59.4%）

（小学校）

国語・算数・英語の全般において、「得意」「好き」「授業内容の理解」に関する肯定的な回答が全国平均を下回っている（国語得意 52.5%／全国 60.4%、算数得意 55.3%／全国 60.1%、英語得意 46.9%／全国 59.8%）。

一方で、国語（94.4%／全国 90.4%）や算数（94.4%／全国 91.0%）において「将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した割合は全国平均を上回っており、学びの有用性を強く認識している児童が多いことが分かる。また、国語で「先生が良いところや成長を伝えてくれた（80.4%／全国 78.1%）」や、算数で「解法に図が役に立った（93.7%／全国 88.3%）」など、指導の工夫において良好な傾向も見られる。

最大の課題は英語であり、「得意（46.9%）」や「好き（51.8%）」の低さに加え、「家庭学習での ICT 活用による音声練習（12.6%／全国 29.7%）」や「日常的に英語を使う機会（25.9%／全国 46.2%）」など多岐にわたる項目で全国平均を大きく下回っている。

（中学校）

国語及び数学において非常に高い成果と学習意欲が見られる。国語では「得意（58.8%／全国 51.6%）」「好き（63.0%／全国 57.2%）」で全国を大幅に上回り、教員からの肯定的な評価や個別指導（81.5%・83.2%）も定着している。数学でも「得意（60.5%／全国 48.5%）」「好き（63.9%／全国 56.1%）」「授業理解（78.2%／全国 74.2%）」と非常に高く、特に「学んだことを生活の中で活用できている（76.5%／全国 61.3%）」割合は全国を 15.2 ポイント上回る突出した成果となっている。

課題としては、国語の記述問題において「すべての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した（56.2%／全国 72.4%）」割合が全国を 16.2 ポイントも大きく下回っている点が挙げられる。また英語では、「家庭での音声練習（31.0%／全国 39.5%）」や「授業での英語による問答・意見発表活動（24.4%／全国 36.6%）」など、発話・アウトプット活動の面で課題が残る。

（２）「主体的・対話的で深い学び」に関連するもの

質問項目	小学校	中学校
学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	77.7% （国：85.7%，県：83.2%）	89.1% （国：87.0%，県：85.7%）
これまでに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	71.3% （国：77.6%，県：73.9%）	78.1% （国：78.8%，県：78.1%）

【小学校6年】

- ・「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」 70.7%（国：77.9%，県：73.2%）
- ・「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」 67.9%（国：79.9%，県：76.0%）
- ・「総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどの ICT 機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか」 70.0%（国：79.7%，県：73.8%）

【中学校3年】

- ・「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」 84.9%（国：78.6%，県：77.5%）
- ・「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」 89.9%（国：80.8%，県：84.2%）

(小学校)

「お互いに協力しながら課題解決に取り組む（93.7%／全国 87.3%）」や「学級会での話し合いを生かして努力目標を決め取り組む（81.8%／全国 77.3%）」の項目で全国平均を上回っており、集団で協力して物事に取り組む姿勢が身についている。

一方で、「自分と違う意見について考える楽しさ（77.7%／全国 85.7%）」、「自分の考えが伝わるよう資料や文章、話の組立てを工夫する（53.9%／全国 66.4%）」、「課題解決に向けた自発的な取り組み（71.3%／全国 77.6%）」など、個々の思考力や表現力を伸ばす活動では全国平均を下回っている。特に「総合的な学習の時間」における自ら課題を立てて調べる学習活動（67.9%／全国 79.9%）やその際の ICT 活用（70.0%／全国 79.7%）で 10 ポイント前後の乖離が見られ、探究的・対話的な学習の質の向上が今後の課題である。

(中学校)

主体的・対話的で深い学びの実践において、良好な成果を示している。「お互いに協力しながら課題解決に取り組む（95.0%／全国 85.2%）」、「話し合いを通じて考えを深める（82.4%／全国 79.0%）」、「学級活動での課題解決（77.3%／全国 70.8%）」、「自分で学び方を考え工夫できる（83.2%／全国 78.2%）」など多くの項目で全国平均を上回っている。

特に「総合的な学習の時間」における自ら課題を立てた調べ・発表学習（89.9%／全国 80.8%）やそこでの ICT 機器活用（85.7%／全国 81.7%）が高く、生徒主体の探究活動が定着している。

(3) その他学習、学習習慣、学級生活等に関するもの ※全国平均と比較して 5 % の差があるもの

【小学校 6 年】

- ・「学校に行くのは楽しいと思いますか」 77.7%（国：85.7%，県：83.2%）
- ・「5 年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」 53.9%（国：66.4%，県：57.1%）
- ・「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」 93.7%（国：87.3%，県：87.6%）
- ・「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」 81.2%（国：86.9%，県：86.4%）
- ・「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1 日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）（1 時間以上）」 42.0%（国：49.9%，県：48.2%）

【中学校 3 年】

- ・「学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか（週に 1 回以上）」 65.6%（国：72.2%，県：70.2%）
- ・「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」 77.3%（国：71.9%，県：74.2%）
- ・「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」 96.7%（国：91.0%，県：90.5%）
- ・「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」 83.2%（国：78.2%，県：76.9%）
- ・「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1 日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどの ICT 機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）（1 時間以上）」 17.6%（国：12.0%，県：12.5%）
- ・「1、2 年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか（週 3 回以上）」 93.3%（国：78.2%，県：87.6%）
- ・「1、2 年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」 77.3%（国：70.8%，県：71.6%）
- ・「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」 95.0%（国：85.2%，県：86.8%）

(小学校)

「先生は自分のよいところを認めてくれている（93.7%／全国 92.7%）」と感じている児童が多く、手厚い児童理解が行われている。休日の勉強時間（1 時間以上：42.0%／全国 39.0%）も全国を上回っている。

課題としては、平日の勉強時間（1 時間以上：42.0%／全国 49.9%）の少なさなどの学習習慣面が挙げられる。また、「学校に行くのが楽しい（80.5%／全国 85.6%）」、「学級では人と違う意見を言っても否定されない（70.7%／全国 77.9%）」、「困りごとや不安がある時に先生等に相談できる（66.5%／全国 70.6%）」といった項目で全国を下回ってお

り、児童がより安心して自分を表現できる学級風土づくりや相談体制の強化が望まれる。

(中学校)

「先生は分かるまで教えてくれている(89.1%/全国 84.8%)」、「困りごとや不安を先生等に相談できる(77.3%/全国 71.9%)」、「学校に行くのが楽しい(84.9%/全国 84.0%)」、「友達関係に満足(93.2%/全国 90.9%)」、「人と違う意見を言っても否定されない(84.9%/全国 78.6%)」など、学校生活への強い満足感と良好な人間関係が構築されている。学習面でも平日の ICT を用いた学習時間(1 時間以上: 17.6%/全国 12.0%) が全国平均を上回っている。

課題としては、「親や家族と勉強や悩みについて話す(勉強: 65.6%/全国 72.2%、悩み: 31.9%/全国 36.4%)」の割合が全国平均を下回っており、家庭とのコミュニケーション面のサポートが挙げられる。

(4) 生活習慣に関するもの ※全国平均と比較して 5 % の差があるもの

【小学校 6 年】

・特記事項なし

【中学校 3 年】

・「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」 89.0% (国: 80.5%, 県: 84.1%)

(小学校)

「朝食を毎日食べている(97.9%/全国 93.3%)」、「毎日、同じくらいの時刻に起きている(84.7%/全国 82.8%)」、「毎日、同じくらいの時刻に寝ている(95.1%/全国 91.7%)」のすべてで全国平均を上回っており、基本的生活習慣が非常に高い水準で定着している。平日の SNS や動画視聴時間(2 時間以上: 54.6%/全国 57.6%) については全国平均並みであるが、生活リズムを維持するための適切なメディア活用の指導は引き続き重要である。

(中学校)

「朝食の摂取(95.0%/全国 90.9%)」、「起床時刻の一定さ(89.0%/全国 80.5%)」、「就寝時刻の一定さ(94.1%/全国 92.4%)」のいずれも全国平均を大きく上回り、基本的生活習慣がほぼ定着している。一方で、平日の SNS や動画視聴時間(2 時間以上: 76.4%/全国 74.9%) が 7 割を超えており、家庭でのメディア利用時間に関するルールの見直しなどが期待される。

(5) 読書習慣等に関するもの ※全国平均と比較して 5 % の差があるもの

【小学校 6 年】

- ・「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1 日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)(30 分以上)」 18.9% (国: 26.1%, 県: 24.6%)
- ・「昼休みや放課後に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌を除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室(電子図書館を含む)にどれくらい行きますか(週 1 日以上)」 43.4% (国: 17.6%, 県: 26.7%)
- ・「あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(一般の雑誌、新聞、教科書は除く)(26 冊以上)」 54.6% (国: 63.0%, 県: 62.0%)
- ・「新聞を読んでいますか(週 1 回以上)」 29.4% (国: 10.0%, 県: 12.9%)

【中学校 3 年】

- ・「昼休みや放課後に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌を除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室(電子図書館を含む)にどれくらい行きますか(週 1 日以上)」 22.7% (国: 7.8%, 県: 13.6%)

(小学校)

「学校図書館の利用頻度(週 1 日以上: 43.4%/全国 17.6%)」、「新聞の閲覧(週 1 回以上: 29.4%/全国 10.0%)」、「地域図書館の利用(月 1 日以上: 19.6%/全国 16.2%)」が全国平均を上回っており、読書や情報に触れる環境へのアクセスが大変優れている。

しかし、「平日の読書時間(30 分以上: 18.9%/全国 26.1%)」や「家にある本の数(26 冊以上: 54.6%/全国 63.0%)」は全国平均を下回っており、図書室利用の機会を家庭での継続的な長時間読書へと結びつけていく工夫が求められる。

(中学校)

「学校図書館の利用(週 1 日以上: 22.7%/全国 7.8%)」、「地域図書館の利用(月 1 日以上: 10.8%/全国

7.0%)」、「新聞の閲覧（週1回以上：8.4%/全国6.2%）」はいずれも全国平均を上回っており、図書館資源の活用が進んでいる。

課題は「平日の読書時間（30分以上：15.2%/全国18.0%）」が全国より低めにとどまっている点であり、読書時間の確保が求められる。

(6) 規範意識・自己有用感等に関するもの ※全国平均と比較して5%の差があるもの

【小学校6年】

・「自分には、よいところがあると思いますか」

80.5%（国：85.6%，県：84.4%）

【中学校3年】

・特記事項なし

(小学校)

「人の役に立つ人間になりたい（96.5%/全国96.2%）」、「いじめはどんな理由があってもいけない（96.5%/全国95.8%）」、「自分にはよいところがある（83.9%/全国81.8%）」、「人が困っているときは進んで助けている（79.0%/全国78.1%）」など、規範意識や自己有用感に関する意識は全国平均と同等以上の高い数値を示している。「普段の生活の中で幸せな気持ちになる（88.9%/全国92.5%）」がやや下回っているため、日常の肯定的な感情を育む関わりが求められる。

(中学校)

「普段の生活の中で幸せな気持ちになる（96.7%/全国91.0%）」、「いじめはどんな理由があってもいけない（97.4%/全国95.9%）」、「人の役に立つ人間になりたい（96.6%/全国95.1%）」、「先生は自分のよいところを認めてくれる（91.6%/全国90.8%）」、「自分にはよいところがある（68.9%/全国67.6%）」など、すべての項目で全国平均を上回っている。自己肯定感や自己有用感、規範意識が高い状態で育まれている。

(7) ふるさとキャリア教育に関するもの

質問項目	小学校	中学校
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	79.0% (国：78.1%，県：79.4%)	74.8% (国：72.3%，県：74.1%)

(小学校)

「地域や社会をよくするために何かしてみたい（79.0%/全国79.4%）」という意識は全国平均と同等である。「将来の夢や目標を持っている（83.9%/全国81.8%）」は全国平均よりわずかに高くなっている。引き続き、地域社会と連携したキャリア教育や、学習成果が自分の将来にどうつながるかを意識させる取り組みが求められる。

(中学校)

「地域や社会をよくするために何かしてみたい（74.8%/全国74.1%）」という意識が全国平均と同等である。「将来の夢や目標を持っている（68.9%/全国67.6%）」生徒の割合も全国平均と同程度である。

ふるさとキャリア教育「琴浦マイスター☆」をより推進していく中で、地域の「ひと・もの・こと」にふれ、将来の自分の姿を展望しながら、琴浦に愛着をもち、生き生きと生活する子どもたちへと育んでいきたい。

4 今後の取り組み

子どもたちに「課題を発見し、解決する力」「他者と協働しながら学ぶ力」「知識を活用し、実社会で応用する力」「自己を振り返り、成長し続ける力」を育んでいくため、まず各学校において、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善が求められる。子どもたちの興味・関心を引き出し、主体的な学びを促す学習の展開、生徒同士が対話し、協力しながら学べる学習環境の整備、デジタル教材等を活用した個別最適化された学びの実現、子どもたちの学びの過程を丁寧に見とったフィードバックの実施等の要素を大切に、学校は授業設計や学習環境の整備に取り組むことが必要である。タブレット端末等を活用した授業設計により、「教師が教える授業」から「児童が学びとる授業」へ、教員はファシリテーターとしての役割を果たし子どもの主体的な学びを導く存在となっていくことへの転換が求められる。教育委員会としては、県教育委員会と連携しながら求められる力が育成できる授業づくりに向けて、各学校に指導助言を行うとともに、第2期GIGA端末整備事業、若手教員授業力向上事業の実施等に取り組んでいく。

また、ふるさとキャリア教育「琴浦マイスター☆」事業の実施等、学校・家庭・地域の協働的な営みによって、学びの主体である子どもたちが落ち着いた学校生活・家庭生活を送り、教師や他の子どもと築いた良好な関係を土台として、自分の力が最大限伸ばせる、安心・安全な学校づくりに取り組んでいきたいと考える。

5 質問紙調査の経年変化

(1) 「将来の夢や目標を持っていますか」

	小学6年生			中学3年生		
年度	琴浦町	鳥取県	全国	琴浦町	鳥取県	全国
H25	77.7%	85.3%	87.7%	64.3%	70.9%	73.5%
H26	87.7%	85.9%	86.7%	68.6%	69.4%	71.4%
H27	83.9%	84.9%	86.5%	73.5%	70.6%	71.7%
H28	89.5%	83.5%	85.3%	66.4%	70.3%	71.1%
H29	81.9%	83.4%	85.9%	67.3%	69.9%	70.5%
H30	86.1%	81.5%	85.1%	67.8%	71.3%	72.4%
H31	87.5%	82.2%	83.8%	66.4%	70.0%	70.5%
R2	未実施					
R3	84.0%	78.6%	80.3%	61.0%	66.7%	68.6%
R4	80.9%	79.6%	79.8%	58.7%	66.9%	67.3%
R5	81.9%	81.2%	81.5%	64.2%	66.3%	66.3%
R6	79.5%	81.8%	82.4%	67.4%	66.5%	66.3%
R7	80.2%	83.8%	83.1%	56.5%	65.2%	67.5%

(2) 「自分には、よいところがあると思いますか」

	小学校			中学校		
年度	琴浦町	鳥取県	全国	琴浦町	鳥取県	全国
H25	74.8%	75.6%	75.7%	64.3%	66.0%	66.4%
H26	75.3%	78.4%	76.1%	68.0%	67.7%	67.1%
H27	72.4%	75.9%	76.4%	71.2%	68.3%	68.1%
H28	78.9%	78.0%	76.3%	75.2%	70.9%	69.3%
H29	72.4%	78.2%	77.9%	67.4%	73.2%	70.7%
H30	81.0%	83.6%	84.0%	78.8%	79.9%	78.8%
H31	79.4%	81.7%	81.2%	73.6%	74.7%	74.1%
R2	未実施					
R3	85.3%	78.8%	76.9%	79.4%	78.5%	76.2%
R4	73.2%	79.0%	79.3%	74.5%	78.1%	78.5%
R5	84.2%	84.3%	83.5%	76.3%	80.5%	80.0%
R6	78.8%	83.9%	84.1%	88.9%	82.7%	83.3%
R7	94.2%	94.5%	92.2%	87.8%	85.0%	86.2%

(3) 「家庭学習で平日、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか（1時間未満の割合）」

	小学校			中学校		
年度	琴浦町	鳥取県	全国	琴浦町	鳥取県	全国
H25	41.8%	34.0%	36.7%	33.3%	29.8%	31.3%
H26	43.5%	36.5%	37.9%	32.7%	31.9%	32.0%
H27	37.2%	36.8%	37.2%	31.9%	32.3%	30.9%
H28	42.1%	37.7%	37.3%	31.1%	32.6%	32.1%
H29	36.2%	36.3%	35.6%	32.0%	31.6%	30.4%
H30	37.3%	32.9%	33.7%	41.8%	30.6%	29.4%
H31	42.6%	31.9%	34.0%	41.6%	31.9%	30.0%
R2	未実施					
R3	47.4%	38.0%	37.5%	28.7%	18.4%	22.4%
R4	47.4%	39.0%	40.5%	40.5%	33.2%	30.4%
R5	46.6%	43.2%	42.8%	38.2%	35.7%	34.0%
R6	59.1%	47.2%	45.3%	46.6%	38.7%	35.4%
R7	59.4%	56.9%	54.0%	35.7%	58.5%	64.3%

(4) 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。」

	小学校			中学校		
年度	琴浦町	鳥取県	全国	琴浦町	鳥取県	全国
R5	81.9%	79.9%	76.8%	60.3%	68.1%	63.9%
R6	84.1%	83.6%	83.5%	77.1%	76.8%	76.1%
R7	78.5%	80.5%	81.3%	71.3%	75.7%	75.3%

(参考) 「中学校英語」における CBT 方式での実施及び IRT の導入について

(CBT 方式)

「CBT」とは、「Computer Based Testing」の略で、「コンピュータ使用型調査」を表します。「中学校理科」において、ICT 端末等を活用しオンラインでテストを受ける「CBT 方式」が初めて導入され、複数日時で分散実施されました。

(IRT)

「IRT」とは、「Item Response Theory」の略で、「項目反応理論」を表します。受検者の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、受検者の学力によるのかを区別して分析し、受検者の学力スコアを推定する統計理論です。国際的な学力調査（PISA、TIMSS など）や英語資格・検定試験（TOEIC・TOEFL など）で採用されており、この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較できます。

IRT に基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500 を基準にした得点で表すものを「IRT スコア」、IRT スコアを 1 ～ 5 の 5 段階で区切ったものを「IRT バンド」と言います。3 を基準のバンドとし、5 が最も高いバンドとなります。IRT スコア・IRT バンドは難易度の高い問題に正答していると高めに、難易度の低い問題に誤答していると低めに算出されます。

「中学校理科」では、生徒 1 人当たり公開問題 10 問と非公開問題 16 問が出題されています。公開問題には全日程に共通する問題 6 問と、実施日により異なる問題 4 問があります。非公開問題は幅広い内容・難易度等から出題され、生徒ごとに異なる問題を解いています。